2026 年 10 月 16 日（第 1.1 版）

臨床研究に関する情報

当院の手術室において手術支援ロボット hinotori™を用いた
ロボット支援下手術に従事された医療従事者の皆さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和３年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第１号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]　手術支援ロボット hinotori™の導入初期における使用性及び術中作業負荷に関する後ろ向き観察研究

[研究機関名・長の氏名]　北海道大学病院・病院長　南須原　康行

[研究責任者所属・氏名]　北海道大学病院消化器外科II・和田　秀之

[研究の目的]

当院に新たに導入された手術支援ロボット hinotori™について、手術に関わった医療者の方が感じた「使いやすさ」と「手術中の作業の負担」を明らかにし、今後の機器の導入計画、手術室の運用、及び手術教育・指導体制の整備に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる方

2024 年 6 月 14 日から 2026 年 8 月 31 日までの間に、当院で呼吸器外科，産婦人科，消化器外科 I，消化器外科 II，泌尿器科における hinotori™を用いたロボット支援下手術に従事し、SUS（使いやすさについてのアンケート）又は SURG-TLX（手術中の作業の負担についてのアンケート）にご回答・ご提出いただいた、医師（術者・機械助手）、臨床工学技士、看護師（器械出し・外回り）の方

○利用する情報

2026 年 8 月 31 日までに回収されたアンケート用紙に記載された、以下の内容を利用します。

- ご回答者の背景：職種・役割、診療科（医師のみ）、手術の実施日及び術式、ロボット手術の経験数、hinotori™使用の経験数、当該術式の経験数
- SUS：システムの使いやすさに関する 10 項目のご回答
- SURG-TLX：精神的要求、身体的要求、時間切迫感、課題の複雑さ、環境的なストレス、注意散漫の 6 項目のご回答

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用開始：2026 年 11 月頃）～2028 年 3 月 31 日

この研究について、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の対象者の情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

本研究で用いるアンケートは無記名で回収されたものであり、用紙にはお名前や職員番号は記載されておりません。解析及び学会・学術雑誌での発表にあたっては、職種や診療科などの区分をまとめて集計するなど、個々のご回答者が特定されることのないように取り扱います。また、ご回答の内容が人事評価その他の業務上の取扱いに影響することはありません。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

なお、本アンケートは無記名で回収されているため、どの用紙がどなたのご回答であるかを特定することができません。このため、ご連絡をいただいた場合であっても、既に回収されている個々のご回答を解析の対象から除くことができない場合がございます。ご連絡をいただいた際は、その内容を記録するとともに、対応についてご説明いたします。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院　消化器外科II　　担当医師　和田　秀之

電話　011-706-7714　　FAX　011-706-7158